

# みどりかがやく

## 準備をしてきたことを役立てる

学校ファームではジャガイモが花を咲かせています。本来であれば現3年生が2年生の3月に種芋を植えるはずでした。4月の半ばに芽を出し始め、今は除草をし、土寄せをしたところです。キタアカリとダンシャクの2種類が植えてあります。順調にいけば、7月のはじめに、3年生の生徒たちの手で収穫を行う予定です。キタアカリとダンシャクを一人3個ずつ家に持ち帰ることを目標にしています。



土寄せをしたジャガイモ

4月には壇上花を準備し、紅白幕を張り、会場を整え、入学式の準備を行い、あとは当日を待つだけの状態でしたが、残念ながら入学式を行うことはできませんでした。私たち教職員も残念に思いましたが、私たちよりももっと強くその思いをもったのは、新入生をはじめとする生徒の皆さんと新入生の保護者・ご家族の皆様だと思います。臨時休業が延長となり、家庭訪問をして生徒と顔を合わせたいという声が職員の中から上がり、教育委員会と相談しましたが、接触を控えるよう指示がありましたので、4月中は課題等を家までお届けすることにしました。5月になり、生徒との接触の許可が出た時点で、担任をはじめ職員は、生徒と顔を合わせる機会が3回ありました。体育館で職員が生徒を待ち、3密を避けられるよう、各教科で距離をおき、健康状態や課題の取組の様子を見させてもらうことができました。そして、6月1日の今日、やっと学校を再開することができます。この2ヶ月間は、生徒にとってもご家族の方にとっても長い時間であったと思います。

その間、生徒にはたくさんの課題を出しました。生徒は課題を行い、学校の再開に向けて準備をしてくれたことと思います。私たち職員もこの期間に生徒を迎える準備をしていました。私たちにできないことは専門の業者の方をお願いしましたが、施設の整備や補修を行いました。具体的には、全教室のロッカーの上に化粧ベニヤを貼り、角をL字のモールで覆い安全にロッカーを使えるようにしました。使われていなかったLL教室の机を取り払い、工事をしていただき、マルチルームとして使えるようにしました。体育館後方に時計を設置しました。校庭では、もう10年以上行われていなかったであろう場所も含め側溝を清掃しました。グラウンドの除草やテニスコートのポール、審判台、ベンチの修繕なども行い、生徒がより安全で安心して生活できるような環境を整えました。

学校が再開してのこれからが本番です。学校は「できなかったことができるようになる場所」ですし、「わからなかったことがわかるようになる場所」です。生徒にとって、学習は必ずしも楽しいものではないかもしれませんが、しかしながら、整備された環境の中で、課題を行うことを通して学習したこと、準備をしてきたことを役立てて、これから、この学び舎で仲間とともに多くのことを学び、充実した時間が過ごしてほしいと思っています。